

Support01 不登校支援機能

学校や教室へ行きづらさを抱えている子どもたちの悩みや
困り感に寄り添いながら支援するとともに、学習支援も行い、
子どもたちが社会的に自立できるようサポートします。

主なサポート

- ①子どもたちや保護者の心の支援
- ②調理実習やスポーツ・ウォーキングなどの体験イベント
- ③学習支援

不登校支援コーディネーター
小木曾 寛美

Support02 教育（発達）相談・検査 ・家庭児童相談機能

いじめや学習、先生との関係、進路、虐待、発達障害など多岐
にわたる悩みの解決に関係機関と連携を図り、子どもや保護者と
一緒に問題の解決に取り組みます。

主なサポート

- ①いろいろな悩みに応じた総合相談窓口の設置
- ②発達検査の実施
- ③保護者への支援

カウンセラー
戸田 裕美子

Support03 外国人児童・生徒支援機能

日本語が話せない外国人の子どもたちが、日本の生活
になじみ、小学校、中学校に通うことができるよう、一
人一人の状況に応じ、学習や生活を支援します。

主なサポート

- ①初期日本語指導
- ②不就学「ゼロ」に向けた取り組み
- ③国際理解教室

外国人児童生徒コーディネーター
林 奨司



教育長 長谷川 広和

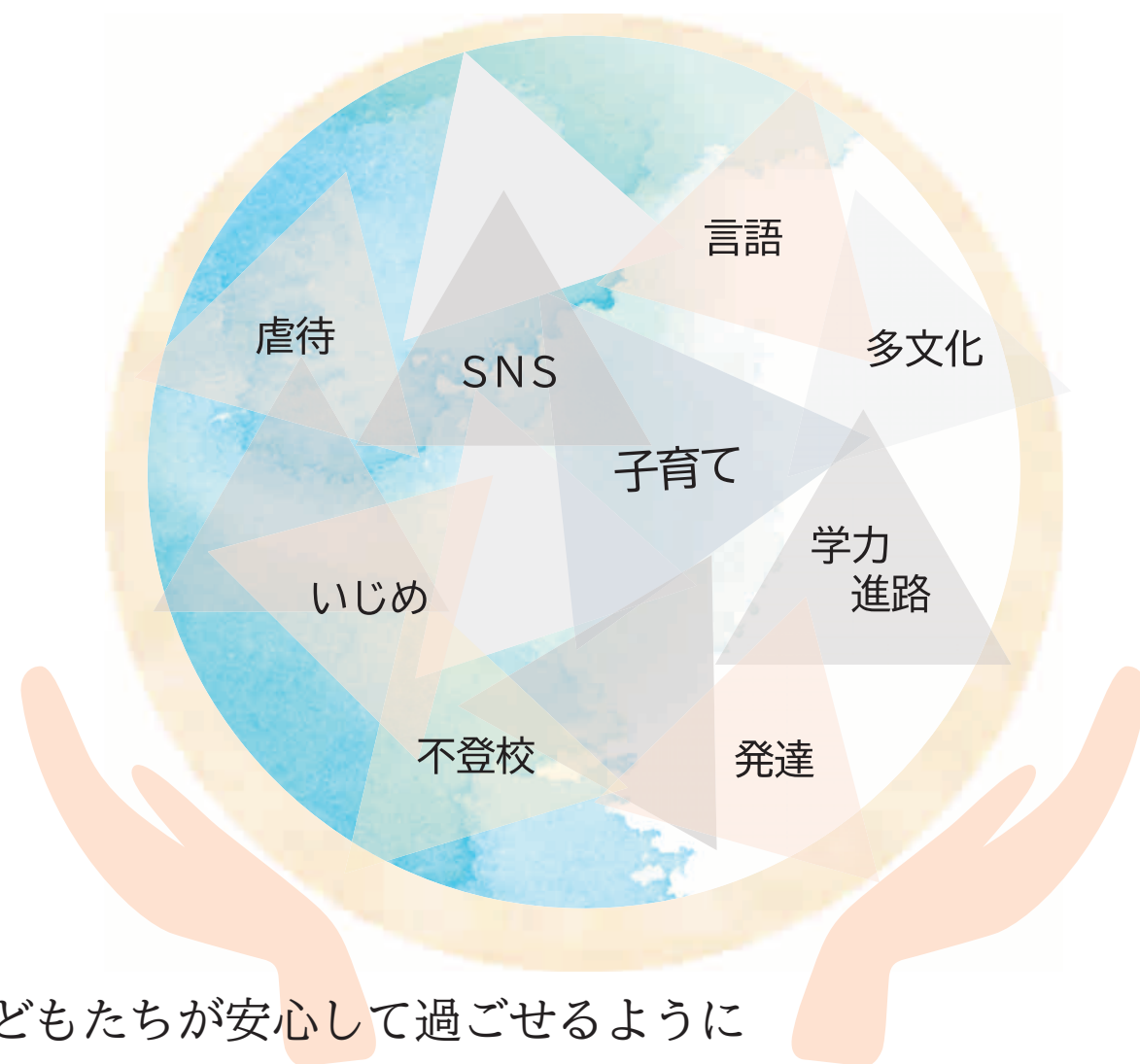
教育は、未来に向かって
種を蒔く 大切な仕事

大切な子どもたちの未来が輝けるものになるために、未来を予想しながら畑を耕し、計画的に種を蒔き続ける。それぞれの種が成長するように日々の様子を観察し、環境を整え、愛情を注いで粘り強く育てる。

いじめや不登校、児童虐待や貧困など、子どもたちが抱える悩みや不安は多様化・複雑化しています。困難さを抱えた子どもたちを受け止め、寄り添いながら、未来に向けての一步を踏み出す支援を、教育支援センター「IKOT・いこっと」を拠点に進めます。

温かな人とのつながりの中で、それぞれの個性を伸ばし、自分の力で未来を切り拓くことができるよう、学校・家庭・関係諸機関と連携し、幼保から高等学校に至るまで切れ目のない支援を行っていきます。

多文化共生の社会を見据えつつ、子どもたちが互いを理解し、違いを認め合いながら安心して生活できるように「居場所づくり」や「絆づくり」に取り組む、ふるさとへの愛着と誇りをもち、夢を実現できる人を育てていきたいと思っています。



子どもたちが安心して過ごせるように

教育支援センター「IKOT・いこっと」

コロナ禍を機に学校に行けない子どもが全国的に増加しています。土岐市も例外ではありません。また、市内に暮らす外国人が増える中、言葉や文化の壁に戸惑いながら生活し、学校に通ってる子どももいます。

土岐市ではこれまで、悩みや困りごとに応じ、各機関で支援を行ってきました。しかし、子どもたちを取り巻く環境は日々変化し、悩みや困りごと多様化しています。

「子どもたちが安心して過ごせるように」。多機能型教育支援センター「IKOT・いこっと」を開設します。支援機能を集約し、園、小・中学校、市、こども家庭センターなど関係する機関の連携を強化することで、子どもたちの個性や特性に応じたサポートをします。

お子さんに関することであればどんなことでも構いません。相談してください。

10月15日(火)開所

教育支援センター「IKOT・いこっと」

開所時間 平日 午前9時～午後3時

住所 肥田町肥田2042番地の2

電話 55-8555

愛称が決まりました

愛称を募集し、1,180作品の中から高野信夫さん（栃木県）の作品に決定しました。

愛称に込めた思い

教育センターに“行くことにしよう”の「行こっと」です。子どもや保護者に教育や家庭生活の悩みがあれば、気軽に相談に来てほしいという思いを表現しました。

また、TOKIを逆さから読むと、IKOTになります。これは、タガログ語で「つなぐ」という意味もあります。